

授 業 概 要

(こども保育科)

授業のタイトル（科目名）		授業の種類	授業担当者	当該科目に関する実務経験
こどもの生活と環境Ⅰ		（ 講義・演習・実習 ）	河村 和代	保育士
授業の回数	時間数（単位数）	配当学年・時期	必修・選択	
15 回	30 時間（1 単位）	1 年・前期	必修	
[授業の目的・ねらい]				
・ 保育所保育指針の領域「環境」の意図しているねらいや内容をふまえ、事例を通して子どもにとっての環境の意味を理解し、子どもの生活や経験に結びついた保育を考えていく力を育む。				
[授業全体の内容の概要]				
・ 日常生活のさまざまな場面で、子どもがかかわる人的環境、物的環境、自然環境について、様々な事例を通して学習する。受動的学習ではなく、ワークショップ、ディベートなどを取り入れ、学生自身が主体性をもって学ぶことができるようにする。				
[授業終了時の達成課題（到達目標）]				
・ 保育所保育指針の領域「環境」の意図しているねらいや内容を理解する。 ・ 子どもにとっての環境の意味を理解する。				
[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法]				
1. オリエンテーション／第1章 保育と「環境」／第2章 領域「環境」とは				
2. 第3章 子どもの育ちと領域「環境」／第4章 子どもを取り巻く人的環境①				
3. 第4章 子どもを取り巻く人的環境②				
4. 第5章 子どもを取り巻く物的環境①				
5. 第5章 子どもを取り巻く物的環境②				
6. 第6章 子どもを取り巻く社会的環境				
7. 第7章 子どもを取り巻く自然環境①				
8. 第7章 子どもを取り巻く自然環境②				
9. 第8章 子どもの生きる力を育む環境①				
10. 第8章 子どもの生きる力を育む環境②				
11. 第9章 子どもを守り育てる環境				
12. 第10章 気になる子どもと環境				
13. 第11章 環境を通じた教育・保育の現在の課題				
14. まとめ				
15. 期末試験				
[使用テキスト・参考文献]				
・ 保育所保育指針 ・ 保育内容「環境」あなたならどうしますか？ 萌文書林 ・ 事例で学ぶ保育内容 環境 萌文書林				
[成績評価の方法と基準]				
教科出席率が80%以上の者に対して、以下の配点による総合点を算出し、学内共通の基準による絶対評価を行う。				
・ 考查点(75%)				
・ 到達目標の修得状況を測るために、筆記試験により期末考查を実施する。				
・ 平常点(25%)				
・ 事前課題を期限までに提出し、その内容が課題に沿ったものである。 ・ 授業に積極的に参加し、周囲と協調しながら自らの向上を図っている。				